

2024

3

March

Vol.125

小売・流通の明日を創るボランタリーチェーン

VOLUNTARY

Retail Support Journal

CHAIN

ボランタリーチェーン

特集

令和6年新春賀詞交歓会開催
記念講演／働き手1100万人不足の衝撃
記念講演／人財を生かす企業経営



令和6年新春賀詞交歓会(巻頭カラー)

令和6年能登半島地震における VC加盟店の被災状況と本部の支援活動

連載

流通デジタル時代の小売業

- ▶ 第18回:ドラッグストア業界の将来展望

米国流通業界の最新動向

- ▶ 第34回:AIユニバースの拡張／Expanding of the AI Universe

世界のボランタリーチェーン事情

- ▶ Part119:インド最大の小売業 リライアンス・リーテイル

令和
6年

一般社団法人日本ボランタリーチェーン協会

新春賀詞交歓会開催

令和6年新春賀詞交歓会を1月22日(月)、東京ドームホテル(東京都文京区)に於いて開催した。

第一部の記念講演は、リクルートワークス研究所主任研究員、一般社団法人スクール・トゥ・ワーク代表理事の古屋星斗氏に「働き手1100万人不足の衝撃—「令和の転換点」後の日本の危機と希望」の演題で、また、流通ジャーナリストの白鳥和生顧問に「人財を生かす企業経営」の演題でご講演いただいた(6~11頁に講演要旨を掲載)。

第二部の懇親会は、1月1日に発生した能登半島地震の犠牲者に対する黙とうに続き、井原實会長が年頭の挨拶を述べた。続いて、南亮経済産業省大臣官房総括審議官、宮浦浩司農林水産省大臣官房総括審議官(代読:宮下雅一農林水産省大臣官房新事業・食品産業部食品流通課課長補佐)よりご祝辞を頂戴し、日本小売業協会の野本弘文会長による乾杯のご発声で開宴した。

以下、井原会長の年頭挨拶、ご来賓祝辞の要旨を紹介する。

年頭挨拶 / 井原實会長



能登半島地震において被災された皆様にお見舞いを申し上げますとともに、1日も早い回復をお祈りいたします。

昨年6月の会長就任以来、当協会について原点に戻って考えようと、協会のパーパス、存在価値について議論しながら進めてきました。その中で、「会員である各VC本部や、そこに属する加盟企業様の発展に寄与する活動を行う」そして「ボランタリーチェーンは中小企業が協力して生き残るために必要な形態であると周知する」、要するにVCの普及と、VC本部および加盟企業様の発展を目的に活動することにしました。

次に、どんな活動をするのか。一つは各チェーンの会員の拡大あるいは新規チェーンの支援。二つ目にそこに属す方々の教育。三つ目に広報です。これに取り組むべく、拡大・教育・広報の三つの部会を立ち上げました。特に拡大については、これまで行っていたVCフォーラムを見直し、フランチャイズショーへの出展に切り替えました。そこで各VC本部様に活動をご紹介いただく。3月に開催されますので、お時間のある方は見ていただきたいと思います。

当協会は、各VC本部の活動について実態調査を行っていますが、その調査方法を見直し、各VCの事業実態・課題を見出すように努めました。新たな調査結果を公開して、それをベースに私たちが何をやるのか、日本のボランタリーチェーンがどういう実態なのかを

見ていただこうと思います。

本当に先が見えず、混沌とした時代ですが、当協会としては、基本に立ち返り、1歩1歩歩んでいきたいと思っています。

ご祝辞 / 南亮経済産業省大臣官房総括審議官



令和6年能登半島地震において亡くなられた方々にお悔やみ申し上げますとともに、被災されたすべての方々にお見舞いを申し上げます。

今年の日本経済を考えると、デフレからの脱却をめざす千載一遇のチャンスと言えます。昨年は賃上げも大きくなり、設備投資も行われました。潮目の変化を感じます。今こそコストカット型経済から、賃金も物価も伸びていく成長型経済に移る大事なタイミングです。賃上げに積極的に取り組んでいただきたいと思っています。政府も昨年末17兆円規模の経済対策を講じて予算・税制・規制、あらゆる面でこれまでにない施策を打ち出しています。

他方、足元の状況を見ますと、物流の2024年問題、物流トラックの運転手さんをはじめ、様々なところで人がいない。しかしながら、これまで猶予されてきた残業規制が適用される。これが課題なところは多いのではないのでしょうか。政府も荷主事業者、物流事業者の取り組みに関するガイドラインを公表して、すでに100以上の団体が自主行動計画の作成をしています。この2024年問題、民間・政府が力を合わせて乗り越えられるように、経済産業省が用意した支援メニューを活用いただきたいと思っています。